



まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 174

令和3年(2021)
5月2日

令和3年度予算の概要	2
代表質問	4
一般質問	6
常任委員会の審査報告(2/24分)	13
各会派討論の内容(2/24分)	13
常任委員会の審査報告	14
各会派討論の内容	16
議案の採決結果	18
6月定例会予定	20
意見書	20

- 令和3年度一般会計予算を可決
- 令和2年度一般会計補正予算を可決
- 「新型コロナウイルスワクチン接種及び経済復興等に係る意見書」を可決

議会だよりはこのコードからご覧いただけます。



心踊る春

春の訪れを見守る五老スカイタワー



再びの賑わいを待つ日本遺産



舞鶴の歴史を伝える田辺城址

令和3年度当初予算661億298万円 ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らしの実現 ～3つのまちづくり戦略～

令和3年
3月定例会
のあらまし

- ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らしの実現に向けた令和3年度当初予算を可決
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費を含む令和2年度補正予算を可決
- 新型コロナウイルス感染症対策事業継続一時支援金給付事業費を含む令和3年度補正予算を可決
- 特別委員会提案による「新型コロナウイルスワクチン接種及び経済復興等に係る意見書」を可決

令和3年3月定例会は、2月24日から3月26日までの31日間開催されました。市長から提案された議案は、令和3年度予算9件、令和3年度補正予算1件、令和2年度補正予算5件、条例16件、その他8件の39議案。議会提案の新型コロナウイルスワクチン接種及び経済復興等に係る意見書と合わせ40件を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決しました。

提案された主な施策など

1 心豊かに暮らせるまちづくり

豊かな自然、歴史・文化、特色ある教育、充実した子育て環境などの地域資源を最大限に生かし、心の豊かさが享受できるまちづくりを推し進めるもの。

これまでの取り組みで培ったまちの魅力を高め、移住定住のさらなる促進を進めるもの。医療的ケアが必要な子どもと家族が安心して暮らせるための施策を総合的かつ効果的に推進するもの。乳幼児教育では、安定した質の高い保育サービスに向け、ニーズの高い3歳未満児の受け入れ体制確保に向けた新たな取り組みを推進するもの。多世代交流施設「まなびあむ」を中心に多様な世代の方々が相互に地域を支え合い、市民の学びに活用することでまちへの誇りの醸成につなげるもの。



多世代交流施設「まなびあむ」

2 安心のまちづくり

人口減少や少子高齢化、また局地化・複雑化する危機事象への対応など社会課題に柔軟に対応し、将来を見据え、効率的で利便性の高い安心安全な都市基盤づくりや福祉の充実を図るもの。

市街地の浸水対策では、引き続き、京都府と連携を図りながら高野川や伊佐津川の河川整備の早期完成、東市街地の雨水管理総合計画を踏まえた基本設計等を進めるもの。



大手ポンプ場の建設現場

3 活力あるまちづくり

本市最大の地域資源である「海・港」を生かした産業の振興や、赤れんがパーク周辺一帯を一大交流拠点として整備する事業をはじめ、地域経済の安定・活性化を図るもの。

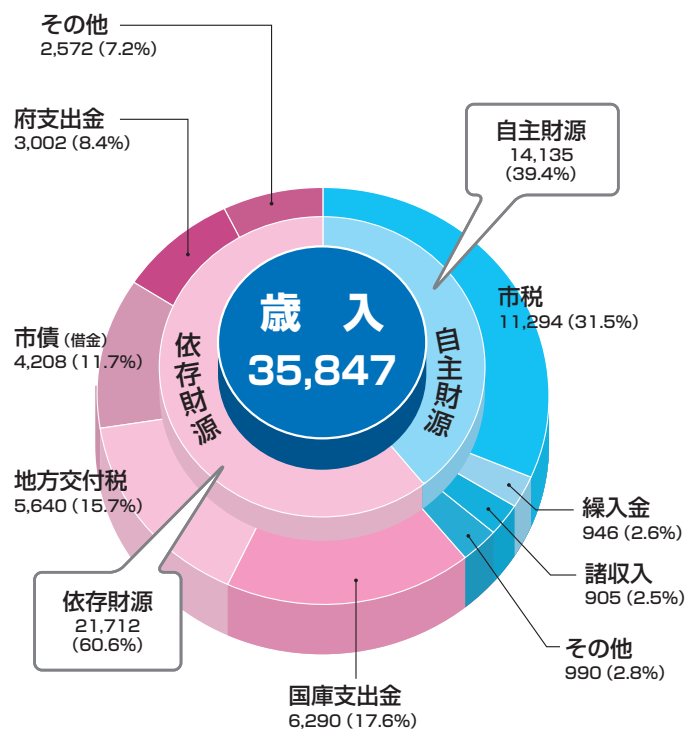
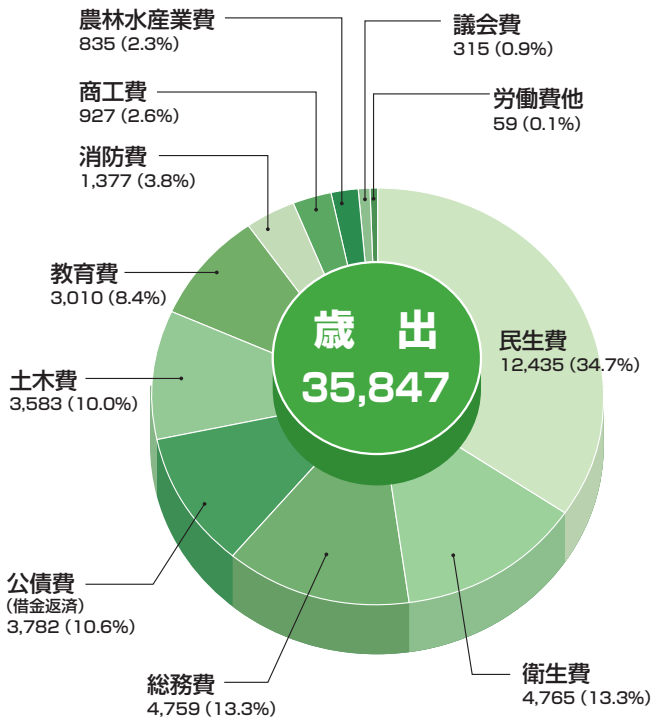
「ビヨンド・コロナ社会」を見据えた社会変化に対応する新規事業や地域課題解決につながる新たな事業を展開する事業者を支援するもの。舞鶴鎮守府開庁120年の節目を契機とし、日本遺産に認定された本市の近代化の歴史ストーリーと文化財を生かした取り組みを進めるもの。地域経済の活性化や「便利な田舎暮らし」を実現する上で重要な役割を果たす道路ネットワークの整備促進を進めるもの。



舞鶴赤れんがパーク

一般会計予算

単位：百万円



まちづくりに係る主な事業

●心豊かに暮らせるまちづくり

(継続) 舞鶴市SDGs未来都市推進事業費	3843万円
(新規) 多世代交流施設「まなびあむ」	3845万円
(拡大) 幼保連携型認定こども園への移行	14億416万円
(新規) GIGAスクール構想 学習系ネットワーク管理経費(小学校・中学校)	9009万円
(拡大) まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費	781万円
(拡大) ごみ処理手数料見直し関連事業	2億9625万円

●安心のまちづくり

(新規) 京都府中・北部地域消防指令センター 整備事業費	570万円
(拡大) 雨水処理事業費 (西地区・東地区浸水対策事業)	10億1500万円

●活力あるまちづくり

(継続) 地方創生拠点整備事業の推進	6億1377万円
(新規) 未来にはばたけ！頑張る事業者応援 プロジェクト事業費	2350万円
(継続) 主要幹線等市道整備の推進 (幹線道路整備事業費・地域間連絡道路整備事業費)	4億5326万円
(拡大) 持続可能な農業経営に向け 「ほ場整備(区画整理)」を推進	3180万円
(新規) 公共施設再生可能エネルギー利活用 調査事業費	7000万円

特別会計予算

会計区分	3年度	2年度	伸び率
国民健康保険事業会計	77億1460万円	78億8397万円	-2.1%
貯木事業会計	210万円	104万円	101.9%
駐車場事業会計	8239万円	7312万円	12.7%
介護保険事業会計	89億520万円	84億6079万円	5.3%
保険事業勘定	88億9880万円	84億5462万円	5.3%
介護サービス事業勘定	640万円	617万円	3.7%
後期高齢者医療事業会計	13億8235万円	14億285万円	-1.5%
公営企業会計	121億6908万円	115億3412万円	5.5%
水道事業会計	33億3980万円	35億1370万円	-4.9%
下水道事業会計	77億6960万円	69億5050万円	11.8%
病院事業会計	10億5968万円	10億6992万円	-1.0%
合計	302億5572万円	293億5589万円	3.1%

代表質問

令和3年3月8日に本会議を開き、4人が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

令和3年 舞鶴市議会3月定例会代表質問

令和3年3月8日

順番	会派名及び氏名	質問事項	
1	創政クラブ議員団 谷川 眞司	1 市政運営について	2 新型コロナウイルス感染症対策について
		3 文化のまちづくりについて	4 安心のまちづくりについて
		5 京都舞鶴港の振興について	6 多様な性を認め合える社会の実現について
2	日本共産党議員団 小杉 悦子	1 新型コロナウイルス感染症予防策と本市の役割について	2 関西電力高浜原発1・2号機の再稼働に対する姿勢について
		3 どの子にも行き届いた教育を実現するため、少人数学級を進めることについて	
3	新政クラブ議員団 野瀬 貴則	1 予算編成方針について	2 新型コロナウイルス感染症対策について
		3 高浜発電所1、2号機の再稼働について	4 2030年の舞鶴について
4	公明党議員団 上羽 和幸	1 新型コロナウイルス感染症対策について	2 財源の確保と財政見直しについて
		3 京都舞鶴港について	4 教育と子育て環境について
		5 デジタル改革について	

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※代表質問については、質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める方式のみとなっています。



高潮で冠水した富士通り

腎臓病など、基礎疾患
には特に接種をしてい
ただきたいが、心臓病、
重症化の恐れがある方
を主とし、感染により
公園体育館、東体育館
を主とし、感染により
重化の恐れがある方
には特に接種をしてい
ただきたいが、心臓病、
腎臓病など、基礎疾患

今年度、「雨水
管理総合計画」を策定
し、志楽川、堀川、祖
母谷川、与保呂川、寺
川等の流域の9排水区
を重点対策地区と定め、
令和5年度の工事着工
を目指す。

東地区区住民は、
長年浸水被害に悩まさ
れてきたが、今回、令
和5年度からの工事着
手に向け取り組むと、
非常に心強い表明をい
ただき感謝する。改め
て今後の計画内容につ
いて問う。

Q 東地区の
浸水対策を問う
A 令和5年度より
工事着手

代表質問
Q 基礎疾患がある方への
ワクチン接種は
かかりつけ医師に
確認を
A 確認を



創政クラブ議員団
谷川 眞司

を持つ方には、かかり
つけの医師に接種可能
かどうかの確認をお願
いする。

代表質問
Q 新型コロナ検査・
診療体制の情報公開を
A 発熱外来の公表を
診療所の理解で目指す



日本共産党議員団
小杉 悦子

「きょうと新
型コロナ医療相談セン
ターの電話が通じな
い」や「3度目の医療
機関でやっと検査を受
けられた」といった市
民の話を聞く。発熱時
の検査・診療体制の情
報公開についての考え
はどうか。

Q 原発基準地震動の
再確認を
A 今後の推移を
見ていきたい



発熱時受診しやすい医療体制を

昨年11月から
相談しやすい体制の構
築や、複数の診療所が
積極的に発熱外来を開
設、検査を実施し、一
部では公表されている。
診療所の先生の理解が
得られたら、市として

国は「地震学、
地震工学的見地に基
き適切に策定されてい
ると判断しており審査
に過誤、欠落はない」
として控訴されており、
今後の推移を見てまい
りたいと考えている。

大飯原発に係
る大阪地裁判決は、原
子力規制委員会が定め
ている内容を満たして
いないと断罪した。関
西電力や原子力規制庁
に、基準地震動の再確
認をすべきと考えるが
市の見解はどうか。

令和3年3月8日に本会議を開き、4人が代表質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

代表質問



合計人口27.5万人の京都府北部5市2町

質問 2030年に本市の人口は6・8万人となる。今後地域を維持するには、人口に沿った適正な規模にまちを集約させ、そのためには市民と共に考え方を变えていく必要がある。計画中の消防指令センターや上下水道サービスの広域連携等、行政区域を越えた連携が重要。府北部5市2町の合計人口は27・5万人で東京都目黒区や大阪府茨木市に匹敵する規模となる。距離に影響しない事務

答弁 5市2町それぞれの強みや個性を生かして、選択と集中、分担と連携をコンセプトに、水平型の連携で相互に補完し、30万人規模の中核都市が備える高度な専門医療、高等教育機関、地域交通などを確保し、図書館や文化・スポーツ施設の共同利用のほか、住民生活に必要な行政機能を持続可能にする広域連携を進めていく。

代表質問

Q 2030年の本市のあるべき姿を問う

A 府北部5市2町による広域連携を進める

新政クラブ議員団 野瀬 貴 則

質問 市に交付される「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、コロナ禍で①雇止めや勤務時間の減少で生活困窮しているにもかかわらず国の支援制度が受けられていない方に個別の支援を講じるようお願いします。②DVや児童虐待、自殺、孤独死など社会的孤立が深刻化する中、生活支援相談を一層充実していたいただきたい。③職を失った方々に緊急雇用創出事業を実施していただきたい。④国府で支援しきれない中小事業者に支援をお願いしたいがどうか。

答弁 ①複雑な課題にも重層的な支援体制の整備により丁寧に対応したい。②現場に一番近い自治体として細かな目を配り、必要な支援の手が届くよう対応したい。③離職された方の就業支援に取り組み、雇用情勢に注視し必要な支援を検討する。④国は50%以上売上が減少した事業者には、本市は独自に30%から50%未満売り上げが減少した事業者には一時支援金の給付を実施する。

代表質問

Q 臨時交付金の活用で生活困窮者の支援を相談者に丁寧に対応独自の支援も

A 独自の支援も

公明党議員団 上羽 和 幸



コロナ対策で安心の社会を

本会議や委員会等はどこからでも傍聴することができます。

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

議会を傍聴してみませんか

手話通訳者・要約筆記者を配置できます

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはメール、FAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承ください。

詳しくはホームページをご覧ください。



令和3年3月9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

令和3年 舞鶴市議会3月定例会一般質問

令和3年3月9日、10日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一問一答	田畑 篤子	1 新型コロナウイルス感染症対応について
			2 医療的ケア児の教育支援について
2	2分割	小西 洋一	1 学校教育の充実について
			2 市の「公共交通政策」について
3	2分割	高橋 秀策	3 自治体行政のデジタル化について
			4 本市財政について
3	2分割	高橋 秀策	1 教育について
			2 職員派遣と人事交流について
3	2分割	高橋 秀策	3 赤れんが周辺等まちづくり事業について
			4 海軍ゆかりの歴史等を活かしたまちづくりについて
4	一括	杉島 久敏	5 市管理照明灯のLED化について
			1 障がい者等への就業支援について
4	一括	杉島 久敏	2 地籍調査について
			1 企業誘致について
5	一問一答	西村 正之	2 複合型ショッピングセンターについて
			1 森林の適正管理について
6	一括	上野 修身	2 舞鶴市消防について
			1 子育て支援の充実について
7	一問一答	伊田 悦子	2 生活保護制度について
			3 ごみ処理手数料の見直しについて
7	一問一答	伊田 悦子	4 ジェンダー問題について
			1 鳥獣被害等について
8	一問一答	川口 孝文	2 舞鶴市安心生活支援システムについて
			3 教育現場の現況等について
8	一問一答	川口 孝文	4 市の管理河川について
			5 不燃ごみ収集について
9	一括	松田 弘幸	1 カーボンニュートラルについて
			2 漁業支援について
10	一問一答	鴨田 秋津	1 学校の働き方改革の方向性について
			2 令和の日本型学校教育について
10	一問一答	鴨田 秋津	3 子育て環境の充実について
			1 西市街地の浸水対策等の現状について
11	一括	水嶋 一明	2 東市街地の浸水対策の促進について
			1 高齢者が安心して過ごすための施策について
12	一括	石束 悦子	2 舞鶴の農業を発展させるための施策について
			1 脱炭素社会について
13	一括	尾関 善之	2 西地区のまちづくりについて
			3 歴史を活かしたまちづくりについて
14	一括	小谷 繁雄	1 防災・減災対策について
			2 GIGAスクールの取組について
15	一括	仲井 玲子	1 火災予防について
			2 本市の自殺対策への取組について
16	一問一答	鯛 慶一	1 公共工事における品質管理について
			2 避難所開設について
16	一問一答	鯛 慶一	3 グリーン slows モビリティについて
			1 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について
17	一問一答	伊藤 清美	2 「みなとオアシス」について
			3 ウズベキスタン人材育成支援について
18	一括	田村 優樹	1 子どもたちの心の健康について
			2 HSC (ハイリーセンシティブチャイルド) について
18	一括	田村 優樹	3 学校行事について

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。



令和3年3月9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

Q 医療的ケア児の
教育支援を問う

A 府立舞鶴支援学校への
本市の支援は困難



新政クラブ議員団
田畑 篤子

質問 本市の医療的ケア児を取り巻く制度は整備され、変化する社会情勢に対応いただいている。来年度、就学を迎える医療的ケア児のご家族は、東舞鶴在住であり、京都府立舞鶴支援学校行永分校への通学を希望されている。自宅訪問の授業ではなく通学が希望である。西舞鶴所在の支援学校本校への通学は遠く体力的に難しい。行永分校は、自宅療養児の通学は対象でないが、本市として、希望を叶えられる支援ができないかお尋ねする。



入学が待ち遠しいな

答弁 主治医とも連携し本人・保護者の教育的ニーズや要望を把握する中で、本人に最もふさわしい環境の学校に就学することが適切である。現行の制度では在宅の子どもが通学することは難しく、入学については市が支援することも難しい。これまでから支援学校とは教育相談において連携してきたが、新たに子ども支援課に医療的ケア児支援担当課が配置され、教育委員会としてもさらなる連携強化を図っていきたい。

Q JR西日本から
廃線の打診はあるのか

A 廃線の打診は
受けていない



日本共産党議員団
小西洋 一



乗って残そう山陰線

質問 マスコミ報道によると、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出・出張の自粛等でJR西日本は苦しい経営が続いており、舞鶴の鉄道路線が遅くない時期に「廃線」を迫られるのではないかと不安が市民の中にある。市に対してJR西日本から打診はあるのか。

答弁 本市の高校生や高齢者をはじめとする多くの市民の主要な移動手段となっている鉄道路線について、JR西日本から舞鶴線および山陰線について、市としてさらなる連携強化を図っていきたい。

質問 「市経済にとって最悪の緊急事態」といわれるJMU舞鶴事業所の商船部門撤退や、長期化するコロナ禍の下で、市民の暮らしと営業支援を最優先にし、赤れんがパーク周辺整備等の大型事業は中止、少なくとも凍結するべきと考えるが、市の見解は。

答弁 日本海側を代表する一大交流拠点として整備することを目指す事業。将来の地域の活性化にとって必要不可欠のものと考えている。

質問 少子化等に伴い、複式学級になっっている学校や、1学年で1クラスしかなく、学年が上がってもクラス替えができない学校がある。現在、吉原・池内・由良川の各小学校で、複式学級があるが、集団の中で切磋琢磨して能力を伸ばしたり、多様な考えに触れ、互いを認め合いながら人間関係を築いたりするために、適正な学校規模であることが望ましいと考える。市の考えを問う。

Q 複式学級の解消
適正な学校規模は
総合的に勘案して
検討する



創政クラブ議員団
高橋 秀策



東郷邸 (余部下)

質問 鎮守府開庁の節目を盛り上げ、海軍ゆかりの歴史や文化を多くの人に知ってもらうべきだがいかがか。

答弁 東郷平八郎ゆかりの銀杏の植樹や日本遺産シンポジウム、グルメイベントなど、海軍ゆかりのあゆみ、歴史・文化、魅力を市内外の多くの皆さんに知ってもらう機会を創出していく。

Q 舞鶴鎮守府開庁
120年は
A 関係団体と連携・
協力する

令和3年3月9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



車椅子障害者の在宅勤務

質問 外出困難な障害のある方も、自宅にいながら就職を目指し、仕事に必要な知識やスキルを磨く在宅訓練が利用できる施設が増えつつある。また、民間においても、障害のある方を対象にテレワークを活用した就職支援が広がってきている。本市でもテレワークを視野に入れた取り組みや事業を積極的に進め、

創造性や生産性を高める手段として、明確に位置付けていくべきではないか。本市の職員採用において、障害のある方を対象に在宅勤務を基本とする採用枠を導入することができないかを問う。

答弁 障害者の就業機会の確保、雇用の拡大を図ることは、社会参加、経済的自立を促進する上で大変重要と認識している。障害者雇用における在宅勤務の活用については、遂行可能な業務選定に課題があるものと思われるが、その可能性について、今後、勉強してまいりたい。障害者の自立と社会参加の促進に一事業所として取り組む考えである。

Q 在宅勤務の活用による障害者就職支援の確保は重要と認識



公明党議員団
杉島久敏

Q 複合型商業施設の効果を問う
A 雇用の創出、交流人口の増加に寄与



会派に所属しない議員
(3月現在)
西村正之

質問 昨年2月にオープンした複合型商業施設6店舗の開業により、市民はもとより、周辺地域からの集客も見込まれ、西地区市街地に新たなにぎわいの場が創出され、今後、本市の交流人口の増加にも寄与するものと期待される。加えて、6店舗において、それぞれ雇用が生まれ、本市における雇用の拡大にもつながったものと考えられる。今回の商業施設の立地に伴い、新たな人の流れや、働く場の創出が民間活力の下で行われたことに対する本市の思いについて問う。



複合型商業施設

答弁 大和紡績跡地に開業した複合型商業施設については、開業以来、市民はもとより京都府北部地域や福井県嶺南地域など、周辺地域からも非常に多くの集客があり、また、各店舗において多くの雇用が創出され、本市経済の活性化とともに、新たなにぎわいの場の創出、交流人口の増加に寄与いただいているものと認識している。

Q 森林経営管理制度における進捗状況は
A 境界の明確化とレーザ計測業務を行う



新政クラブ議員団
上野修身

質問 我が国の森林の所有は、小規模・分散的で、長期的な林業の低迷や、森林所有者の世代交代などにより森林への関心が薄れ、適切な管理が行われず、災害や地球温暖化の防止といった公益的機能の維持に支障が生じている。加えて、所有者・境界が不明などの課題もあり、再開発や公共事業にも大きく影響している。森林経営管理制度が創設されて2年が経過したが、現在の進捗状況と、所有者不明の森林への対応について問う。



適切な整備が求められる森林

答弁 市では今年度から岡田由里地区と丸田西地区において事業を進め、境界の明確化

と、樹種や伐採した際に収穫できる木材量推定のため、航空レーザ計測業務を行う予定。所有者不明の森林について、森林経営管理制度は、登記・戸籍情報から調べるが、それでも不明の場合にはホームページ等を活用して公告を行い、申し出がなければ都道府県知事の裁定を経て、森林集積を進めることができるとなっている。

令和3年3月9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



SDGs(※)5番目の目標

質問 ごみ処理手数料について、見直しありきで進められ、7月から実施される。現在、自治会代表者対象の説明会が開催され、そこでは「コロナ禍での値上げは市民目線でない」「半年は延ばさないと混乱が生じる」「プロセスに問題あり」等の意見が出た。このことから、見直しは延期すべき。いかがか。

答弁 市民の将来的負担を減らし、今後に備える取り組みとして実施するもの。見直しに至った経過や必要性、

Q ごみ処理手数料見直し
延期の検討を
丁寧の説明し
理解を得る



日本共産党議員団
伊田悦子

答弁 多様な性を認め合える社会の実現に
向けた具体策として、
パートナーシップ制度
は、当事者の抱える困
難の軽減につながる。
制度内容を研究する。

手数料算定の考え方等
丁寧に説明し、理解と
協力をお願いする。

Q ジェンダー問題の
解決策は
パートナーシップ
制度研究

質問 性別等にとら
われず、多様な個性が
尊重され、一人一人が
個性と能力を十分に発
揮し、社会的責任を分
かち合い、共にあらゆ
る分野に参画できる社
会の実現を目指し、
パートナーシップ条例
を制定すべき。いかが
か。



安心生活支援システム緊急通報装置

質問 本市の安心生
活支援システムは、健
康に不安がある独居者
や、高齢の独居者に
とって、非常に心強い
システムであると承知
している。しかしなが
ら、システムの利用申
請時には、利用者が通
報ボタンを押した際、
利用者宅に向き、状
況確認を行ってもらう
協力員の選定が必要と

Q 安心生活支援システム
設置条件の緩和を
協力員選定と装置設置を
同時進行で対応



創政クラブ議員団
川口孝文

答弁 体調や精神面
での不安を抱えなが
ら、一人で暮らして
いる高齢者にとって
相談支援体制をでき
るだけ早期に整える
ことは、大変重要で
あると考える。本人
や家族、関係者と共
に、協力員を見つけ
る努力をする一方、
同時進行で設置の手
続ができるよう対応
していく。

なっている。協力員の
選定では、ケアマネー
ジャーや担当課など関
係者が連携して支援に
取り組まれているが、
支援システムが必要な
申請者に対し、「まず
通報装置を設置し、
」並行して協力員を探
す」という方策をとる
べきと考えるが、見解
を問う。

Q 地域の基幹産業である
定置網の支援を
漁獲の効率化を図る
スマート漁業を導入

A スマート漁業を導入



公明党議員団
松田弘幸



舞鶴海苔

質問 京都府内の令
和2年漁獲量は、令和
元年より増加したもの
の、生産額は約5億2
千万円の減少となった。
漁獲量の約8割、生産
額の約6割を占める定
置網漁業が新型コロナウイルス
ウィルス感染症の影響
を受けた結果と考える。
これまでの支援や今後
の支援について問う。

答弁 漁船や漁網を
購入する際の利子の一
部を助成するほか、京
都府の緊急支援事業や
国の経営継続支援に上
乗せする形で実施。3
月下旬には、定置網に
水温計などのセンサー

答弁 日本海側で唯
一となる海苔養殖で、
良質と伺った。販売方
法やPR手法等の協議
を行う中、今後、
京都府や京都府漁
業協同組合など関
係団体と連携し、
支援を行いたい。

を設置し、漁獲の効率
化を図るスマート漁業
を導入する予定。

Q 海苔養殖事業に
支援を
関係団体と
連携して支援

質問 新型コロナウイルスに
より、魚価の低迷や遊
漁・旅館業の休止等に
より、大きな影響を受
けた地域で、新たにの
り養殖事業に取り組み
れた。これらに対する
市の支援や考えを問う。

一般質問

令和3年3月9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



休日部活動の担い手を

Q 一般質問
中学校の部活動改革に向けての準備は
A 検討委員会の設置や
人材確保を進める



会派に所属しない議員
(3月現在)
鴨田 秋津

質問 国は令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域に移行していく方向性を示している。今から準備が必要であり、教育委員会や文化・スポーツの指導者などの検討委員会の立ち上げが早急に必要と考える。また受け皿となる地域人材確保のため、人材バンク制度を設けるべきだが市の見解を問う。

答弁 本市はスポーツ庁の地域部活動推進事業の実践研究地域に応募し、府内唯一の実践研究市として、令和3、4年度と検証する。その中で検討委員会の設置を考えている。また人材バンクの設置に向けて準備を進める。

Q 教員の働き方改革の策は
A 小中学校とも策を講じる

質問 法改正により公立学校教員の残業時間の上限を原則月45時間、年360時間とする規則を本市も定めたが、働き方改革にはつながっていない。解決していくために何を实行するか具体策を問う。

答弁 3年度から中学校では部活含め午後5時に完全下校、小学校では教科担任制授業の実施など教員の授業準備時間を確保する。

Q 一般質問
高野川等の浸水対策と進捗状況を問う
A 補強工事を発注し
用地も8割の契約完了



新政クラブ議員団
水嶋 一明

質問 京都府において、高野川の拡幅や護岸工事、それに必要な用地取得が進められているが、現在の進捗状況等を問う。また、大橋架け替えに伴う護岸補強工事の発注などが進められているが、架け替えの計画内容を問う。加えて、本市が現在実施する大手ポンプ場の整備状況や、積極的に取り組んでいただいている逆流防止施設

の整備状況および、概ね50年に1回の洪水を安全に流下させるための伊佐津川改修工事の整備進捗状況を問う。

答弁 高野川では、新橋から新大橋までの東側護岸のうち、160mの工事を発注、用地取得も面積

比で約8割の契約が完了。大橋は、歩道橋として架け替える計画を進めている。大手ポンプ場は、令和4年度の供用開始を目指し、逆流防止施設は今年度も10基の整備を進めた。伊佐津川の左岸は、新たにブロック積護岸が整備され、右岸側では、既設の護岸を高上げする工事が来年度の出水期までに完了予定である。



出雲谷橋右岸側の逆流防止施設

Q 一般質問
高齢者への負担増反対
タクシー券拡充を
A 現行の仕組みで
事業実施



日本共産党議員団
石東 悦子

質問 高齢者が安心して過ごせるよう①国が計画している75歳以上の医療費窓口負担1割から2割への引き上げは、新型コロナウイルス感染症と重なり受診控えを加速するもの。撤回を国に意見表明すべき。

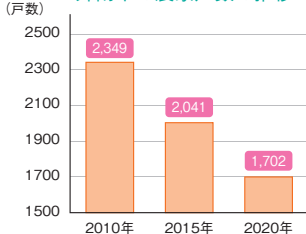
②高齢者タクシー券補助について、交通費負担が大きい遠隔地に対する支援制度を設けるべきではないか。

Q 家族農業・集落営農
振興を
A 農業経営基盤強化に
努める

答弁 ①高額療養費制度や受診抑制対策の配慮措置がある。現役世代の負担軽減の趣旨

質問 本市の農家数は10年間で27%も減少。国連が提唱する家族農業の進展が大切。農村への移住促進や新規就農者・集落営農への支援、後継者の育成等により、農業を活性化すべき。いかがか。

舞鶴市の農家戸数の推移



答弁 経営形態にとらわれず、商品開発、販路開拓、経営多角化へ取り組み、リーダー育成支援など農業経営の基盤強化に努める。

令和3年3月9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



整備中の冠木門

質問 城下町の歴史文化遺産が点在する周辺を回遊できる歴史のまちの整備について、石畳風の舗装や歴代城主の家紋を施した街灯など、完成した地域は現代的な歴史を醸し出している。一日も早い計画路線の完成が待たれるが、今後の進め方について問う。

答弁 歴史のみち整備と併せ、起点となる田辺城址についても、未整備であった北側エリアで、園路や城内の冠木門等の景観整備に

Q 歴史を活かしたまちづくりを問う

A 引き続き早期完成に向け取り組む



創政クラブ議員団
尾関 善之

取り組み、3月末の完成予定となっている。

Q 水素エネルギーの導入は

A 脱炭素社会に
取り組む

質問 水素エネルギーは家庭用エネファームや燃料電池自動車など、すでに実用化されている。舞鶴市地域エネルギービジョンに水素エネルギーの導入をどのように位置付けられているのかを問う。

答弁 ビジョン策定に係る検討委員会の意見を聞きながら、地域エネルギービジョンにおいて、水素エネルギー産業の創出や燃料電池自動車の普及など京都府と連携を密にし、脱炭素社会の実現に向け取り組んでいく。

Q 自然災害に備える安全・安心の周知は

A タイムラインの作成を府と連携して支援



公明党議員団
小谷 繁雄

質問 市民が、災害を「わがごと」と捉え、地域で策定する地区防災計画や市民が自らの避難行動を事前に決めておく「マイ・タイムライン」の策定が重要。それには、市民に災害事例を示し、防災意識を高めることが有効で、洪水ハザードマップの活用等が考えられる。府と連携して効率・効果的に進めることについて市の考えを問う。

答弁 災害時における地域の危険箇所・避難ルート・行動・備え・心構えについて、理解を深める取り組み

を進める。タイムラインの策定は、重点的な取り組みとして自治会などに出向き、有効性を伝え、京都府とも連携して積極的に支援する。

地域で取り組む「マイ・タイムライン」



質問 気象庁が委嘱する気象防災アドバイザーは、自治体の防災対策を支援する取り組みであり、地域防災力の向上につながる人材活用と考えるが、本市の見解を問う。

答弁 地元で精通した気象防災の専門家であり、各地域での活動事例を参考に、本市でも活躍の場を検討する。

Q 気象アドバイザーの活用を

A 活躍の場を検討

Q 安心して生きられる社会の実現は

A 心の健康を支援する環境整備



会派に所属しない議員
仲井 玲子

質問 いじめやハラ・スメントにより、安心して社会に所属できない人が、外の世界へ相談に行けるよう少しずつ自信を回復するには、自己肯定感を高める本を自分のテリトリーの中で自分のペースで読むことが有効な手段の一つと考える。図書館に自殺対策月間等で特設コーナーを設置し、本人や周囲の人に手に取ってもらいやすくするのはどうか。

また、新型コロナウイルス感染症により孤独となっている高齢者の方を励ますために、学校や団体に声掛けをして手紙やはがきを出すのはどうか。



東図書館

答弁 昨年度「舞鶴市のち支える自殺対策計画」を策定、自殺対策やひきこもり支援等のワンストップ窓口を設置し、さまざまな施策に取り組んでいる。自己肯定感を高める本との出会いは自殺予防につながるため、東西図書館に特集コーナーを設置するなど取り組みを進める。高齢者へのメッセージカードの配布は、従来より敬老の日などに行っている。

一般質問

令和3年3月9日、10日に本会議を開き、18人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



この車両が走る社会を地域でつくろう

この車両が走る社会を地域でつくろう
この移動手段を活用し、バス停までの送迎を地
域で支えられないかとい
う機運が出てきてい
る。多くの規制や課題
があることは承知して
いるが、市として、こ
のような地域の取り組
みに対し、支援等を検
討していただけないか
を問う。

質問 地域の高齢化
が進み、自動車運転免
許証を返納された方が、
徒歩でバス停へ行くこ
とも困難になりつつあ
る。グリーンスローモ
ビリティは移動手段の
一つで、地域が抱える
さまざまな交通課題の
解決と、地域での低炭
素型モビリティの導入
を同時に進められる。
この移動手段を活用し、
バス停までの送迎を地
域で支えられないかとい
う機運が出てきてい
る。多くの規制や課題
があることは承知して
いるが、市として、こ
のような地域の取り組
みに対し、支援等を検
討していただけないか
を問う。

答弁 さまざまな立
場の住民の皆さんが、
実現に向けて将来を見
通した持続可能な運営
体制等の仕組みづくり
について協議いただ
く中で、合意形成を
図る必要があると考
える。また交通事業
者との調整や法規制
等でクリアすべき課
題等もあると思われ、
市としては、地域の
皆さんとの対話を重
ねる中、必要な施策
や関係機関との調整
を行っていききたい。



安全・安心なワクチン接種を
目指して

質問 ワクチン接種
は長期間に及ぶ対応が
求められる。その間、
自然災害の多い我が国
においては、出水時期
にも重なり、災害の発生
が懸念される。事前に
あらゆる事態を想定し
た備えを講じておくこ
とは、平時において最
も重要なことで、円滑
なワクチン接種にも寄
与する。集団接種期間
中に、不測の事態が発
生した場合の対応につ
いて本市の考えを問う。

答弁 不測の事態に
備えた対処を定めてお
くことは重要と考えて
いる。接種会場におけ
るさまざまなケースを
想定し、ワクチン接種
実施マニュアルに基づ
き適切に対応する。
質問 舞鶴西港第2
ふ頭の旅客ターミナル
改修工事とふ頭の老朽
化対策工事が完了間近
である。満を持して
「みなとオアシス」登
録に向けて動き出した
が目指す意義について
問う。

答弁 訪れた方のみ
ならず、みなとの魅力
を全国に発信するとと
もに、みなとから市内
への回遊を促進し、商
店街等まちなかのぎ
わいを創出していく。

一般質問

Q 中舞鶴に新たな
公共交通の推進を
必要とする施策や関係機関との
調整を行う

A



一般質問

Q ワクチン接種時、
不測の事態の対応は
マニュアルに基づき
適切に対応する

A



一般質問

Q HSCの理解促進と
支援体制を問う

A 全教職員の共通理解
学校教育全般で支援



質問 HSC(ハイ
リーセンシティブチャ
イルド)は、「ひといち
ばい敏感な子」と訳さ
れ、生まれつき感受性
が豊かで、他人の気持
ちによく気が付く一方、
周囲の刺激に敏感で傷
つきやすい特徴があり、
「臆病な子」「我慢でき
ない子」といった偏見
の眼差しに苦しんでい
る。私は、人の気持ち
にとっても敏感で、共感
力が高く、場の空気を
感じ取ったり物事を
深く読み取った
りする長所ともい
うべき特徴が世間
でよく理解されて
いない状況や、社
会に溶け込めずそ
の才能が開花され
にくい状況は問題
視すべきで、広く
理解を求める行動

が必要と考えるが、市
の見解を問う。
答弁 全教職員がH
SCの特徴、刺激に対
して敏感であったり、
自己肯定感が育ちにく
いことを共通理解し、
目の前に具体的な目標
を持たせ、丁寧に声掛
けをするなど、個々の
成長を認める接し方を
大切に、将来社会で自
立的に生きることがで
きるよう、学校教育全
般にわたり支援する。



ハイリーセンシティブチャイルド

令和3年2月24日の本会議初日において、新型コロナ対策関連など、早期対応が必要な議案について、即日審議し、討論を行いました。

常任委員会の審査報告 (2/24)
討論 (2/24)

予算決算委員会の主な
審査内容(2月24日分)

令和2年度一般会計
補正予算(第10号)

学校施設新型コロナウイルス感染症防止対策経費

Q 教職員の研修支援に係るもので新年度当初予算との違いは。

A 当初予算は、タブレット端末を使つての指導力向上など、ICTに特化した研修経費。今回の補正は、それ以外にコロナ感染症で中止になった研修に代わる自主的な研修参加費を補助するもの。

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

Q 新型コロナウイルスワクチン接種の証明書の発行はあるのか。

A 接種後、会場にて証明書を発行する予定。

新型コロナウイルス感染症対策緊急事態措置協力金市町村負担金

Q 本市の協力金支給の該当件数および財政負担の割合は。

A 時短要請に応じ、対象となるのは市内615店舗。支援金の財政負担の割合は、全体

の5分の1が地方負担となり、その3分の1が市の負担。1店舗1日当たり4千円が市の負担となる。

新型コロナウイルス感染症対策指定管理施設持続化応援奨励金

Q 奨励金の上乗せ分は、どのように算定するのか。

A 令和2年度における各施設の収支を確認し、赤字となった場合において、収支の差額により設定する階層別の区分に基づいた一定額を支給する予定としている。

討論
クレインブリッジの
早期復旧工事を評価



新政クラブ議員団
眞下 隆史

令和2年度舞鶴市一般会計補正予算(第10号)に賛成する。

早急な審議が必要とされる事業で、補正総額5億7819万円の

増額であるが、そのほとんどが新型コロナウイルス関連の国による補助・交付金で対応されている。主な事業は、新型コロナウイルスワクチン接種に関わる事業であるが、令和2年12月補正予算から計画的に、ワクチン接種に係る準備が進められていると判断し高く評価する。土木費では、昨年9月から通行止めとなつている舞鶴クレインブリッジについて、支承部の破損原因と今後の復旧方法が専門家会議で確立された。全国的にも事例が少なく対応が困難と思われた中、しっかりと国の補助金を確保し、早期に復旧工事を計画されたことに、感謝と敬意を表する。本年10月末の工事完了を目指され、地元住民や企業にとつて明るい情報であるが、復旧工事に際し、事故等が発生しないよう、十分な安全管理をお願いする。

討論
誰一人取り残さない
市独自支援の強化を



日本共産党議員団
伊田 悦子

令和2年度舞鶴市一般会計補正予算(第10号)に賛成する。

新型コロナウイルスワクチン接種に関わる2件の補正は、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束が求められる中で、事業。ワクチン接種を安全に実施するために開設されるコールセンターにおいて、市民からの相談や不安に、丁寧な対応をお願いする。

「新型コロナウイルス感染症対策緊急事態措置協力金市町村負担金」は、時短要請に伴う協力金の市町村負担分。要請に応じれば一日当たり6万円の協力金となっている。政府

の時短要請によつてつぶれる店を出さないためにも、事業規模に応じた支援と、持続化給付金の再給付を国に求めるよう要望する。

「新型コロナウイルス感染症対策事業継続一時支援金給付事業費」は国の支援金の対象外となった事業所を救うもので、市の独自支援。感染予防対策の充実、暮らし生業支援で、誰一人取り残さない支援策強化を要望する。

討論
ワクチン接種体制の
整備を評価



創政クラブ議員団
伊藤 清美

令和2年度舞鶴市一般会計補正予算(第10号)に賛成する。

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費として、速やか

にワクチン接種が行えるよう、コールセンターの開設、接種管理システムの構築、接種券等個人通知の郵送など、必要な体制整備に関する事業費を計上。国が示す優先接種対象者の安全かつ円滑な接種体制を望むものであり賛成する。なお、本接種事業は長期間にわたることで梅雨の蒸し暑い時期や台風の襲来等さまざまな事態が予想される。接種を円滑に進めることは当然のことながら、不測の事態に備えることも必要であり、万全な体制の構築を要望する。土木費では、橋りょう長寿命化事業として舞鶴クレインブリッジ復旧に係る事業費を増額して補修工事の早期完成を目指すものであり賛成する。通行止めを余儀なくされた地元住民をはじめ関係者に大きな影響を与えており、早期復旧をお願いする。

討論(2/24) 常任委員会の審査報告

令和3年2月24日の本会議初日において、新型コロナ対策関連など、早期対応が必要な議案について、即日審議し、討論を行いました。

本会議において付託された議案は、福祉健康委員会6件、市民文教委員会2件、産業建設委員会5件、総務消防委員会6件、予算決算委員会14件であり、それぞれの委員会で審査しました。

討論

安全で円滑なワクチン接種の実施に期待



公明党議員団 松田弘幸

令和2年度舞鶴市一般会計補正予算(第10号)に賛成する。

本予算は、新型コロナウイルス感染症対策関連予算などであるが、ワクチン接種事業は、いまだ先の見通せないコロナ禍収束への決め手となるワクチン接種をいち早く「安全で円滑」に実施するためのものである。接種会場までの交通手段がない人のために、バス・タクシーなどによる送迎を実施し、多くの市民に接種していただけのように配慮されていることに感謝する。また、現在、市のホー

ムページにワクチン接種に向けて概要を掲載され、市民への周知を図られていることを評価する。橋りよう長寿命命事業費では、支承の損傷が発見され、全面通行止めとなつている舞鶴クレインブリッジの復旧工法が決定されたことに伴い、補修を進める予算である。これら予算は早期執行の必要があることから賛成する。

ワクチン接種体制の整備を評価



会派に所属しない議員 仲井玲子

令和2年度舞鶴市一般会計補正予算(第10号)に賛成する。

衛生費では、長期にわたる感染拡大で、医療だけでなく経済にも

大きな影響を与えている新型コロナウイルス感染症について、安全で円滑なワクチン接種の実現に向けた体制づくりと準備の事業であり高く評価する。ワクチン接種は努力義務であるが、有効性が期待できるため丁寧な説明を行い、接種した人とならない人との間に緊張感が生じることがないように配慮をお願いする。商工費について、新型コロナウイルス感染症対策事業継続一時支援助金給付事業費は、緊急事態宣言に伴い、事業に影響を受けた小規模・個人事業主を支援するもので、国の支援を補うものとして評価し、賛成する。経済産業省の支援事業に関しては、申告漏れの方がないよう広報をお願いする。土木費の舞鶴クレインブリッジの復旧工事については、一日も早い復旧をお願いし、賛成する。

予算決算委員会の主な審査内容

令和2年度一般会計補正予算(第11号)

文化公園体育館再生可能エネルギー実装事業費(債務負担行為)

Q 事業の内容は。また、必要経費はどうするの

A オムロンソーシアールソリューションズ(株)からリースを受けるLED照明設備や太陽光発電設備等を体育館に設置し、発電状況等を表示するEMSモニターを使って、環境学習等ができるようにするもの。リース料は、設備導入により削減できる電気料金(年間約360万円)を充てる。

大河ドラマ活用 まちなか回遊事業費

Q ふるさとまつり事業費補助金も同様だが、新型コロナの影響から大きな減額。苦労が多かったものと感じるが

総括は

A イベントが軒並み中止となり、今後も予断を許さない状況が続くと思われるが、イベント時の感染症対策等しっかり対応していきたい。大河ドラマ活用 まちなか回遊事業については、市内観光施設のひとつだが、来場者が前年の半分となった中、田辺城資料館は前年の120%となるなど、一定手応えがあったものと考えている。

令和2年度一般会計補正予算(第12号)

新型コロナウイルス感染症対策市役所機能強化事業費

Q テレワーク環境の整備を目的としているが、通常業務においても効果が発揮されるものか

A 出張時などにも活用できるほか、今後のさまざまな事務のさらなるデジタル化に備える意味でも有効であると考えている。

令和3年度一般会計予算

地域資源を活かした多世代交流促進事業費

Q 「まなびあむ」での交流促進事業の内容は。また、当該事業費補助金の用途は

A 高等教育機関との連携による学生のフィールドワーク研修や企業等の研修合宿での利用促進等を想定している。補助金は、4階の交流スペースを活用した事業に必要な設備機器の導入等に対して交付する。

外国人介護人材確保支援事業費

Q 卒業生は在留資格を得ることが可能か

A 本事業は、舞鶴YMCA国際福祉専門学校への留学生を対象とした本市独自の支援策。卒業後、介護福祉士の資格を取得すれば、最長5年の在留資格を得ることが可能であり、更新回数制限はない。

本会議において付託された議案は、福祉健康委員会6件、市民文教委員会2件、産業建設委員会5件、総務消防委員会6件、予算決算委員会14件であり、それぞれの委員会で審査しました。

常任委員会の審査報告



委員会審査の様子

国際交流活動推進費

Q コロナ禍において、国際交流事業の実施の見込みは

A 人的往来については、現在、出入国制限の関係から困難な状況にあるが、改善されれば事業を推進したい考え。また、往來のみでなくオンラインによる交流など、手法に工夫を凝らし、事業の実施を検討していきたい。

行財政改革推進経費

Q ICTやデータ活用による事務処理の効率化と市民サービスの利便性向上策の検討に際して助言を得る外部人材の具体的な想定は

A 総務省が認定する「地域情報化アドバイザー」から助言を得る予定としている。

公共交通ネットワーク会議事業費補助金

Q パーク&レール事業を含む市営駐車場利用の補助がなくなっているのはなぜか

A 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者が減少している中で、見直しについて検討する必要があると判断し、令和3年度は、補助金として支出しないこととした。パーク&レール事業自体は、引き続き実施される。

令和3年度一般会計補正予算(第1号)

新型コロナウイルス感染症対策事業継続一時支援金給付事業

Q 対象となる市内小規模事業者の数はどの程度見込んでいるか

A 条件としている30から50%の売り上げ減少に該当する市内事業者を300件と見込み、予算としては、3000件中、法人を1800件、個人を1200件計上。

常任委員会の主な審査内容

市民文教委員会の主な審査内容

子育て交流施設条例の一部改正

市民の施設利用機会の確保のため、市外居住者の入館料を有料とするもの。

Q 令和元年度の施設利用者数に占める市外居住者の割合は。また、その利用料を0歳から大人まで、一律200円とする根拠は

A 年間利用者数6万2250人のうち市外居住者は1万7234人で、全体の約28%。利用料については、総事業費を利用者数で割った、一人当たりのコストが約700円となるので、これに人件費を除いた管理経費の割合(約30%)を掛けて算出した。大人のみ負担が偏らないよう、一律200円とする。

福祉健康委員会の主な審査内容

介護保険条例の一部改正

介護保険事業計画の見直しに伴い、令和3年度から5年度までの各年度における65歳以上の被保険者の保険料率を定める等の改正を行うもの。

Q 第8期介護保険料改定による影響は

A 第7期と同額の場合、収入が不足し、第9期の引き上げ幅が大きくなりすぎることから第8期介護保険料を引き上げる。ただし、第1段階から第3段階については軽減措置を継続する。

産業建設委員会の主な審査内容

電源立地地域対策基金条例の一部改正

電源立地地域対策交付金を公共用施設に係る整備等のための措置に要する経費財源に充てるため、基金の設置目的を改めるもの。

Q 本交付金の具体的な使途はどのようなものか

A 保育士の処遇改善事業など、幅広い事業に充当。今後は、学校施設の長寿命化などを予定し、財政負担の平準化等を目的に基金化も含めて計画的に執行する。

滞在型農林業体験実習施設条例の廃止

老朽化に伴い当該施設を廃止するもの。

Q 廃止に伴う代替施設の設置予定は

A 当該施設と目的が同じ移住定住促進施策を充実させており、今後はそれらによる就業支援を展開していく。

総務消防委員会の主な審査内容

火災予防条例の一部改正

電気自動車等のバッテリーを短時間で充電する急速充電設備について、出力の大きな設備の需要が見込まれることから、国の基準において全出力の上限が拡大されたことに伴い、設備の位置、構造及び管理に関する基準等を改正するもの。

Q 現在、市内で該当する設備があるのか。また、新規設置の相談等があるのか

A 従前は届出義務がなく、正確な数は把握できていないが、カーディーラー等に設置されている。また、今後の設置に関する具体的な相談等はない。

ふるさと応援基金条例の一部改正

ふるさと納税の利用拡大等に伴い、今後、寄附金をさらに有効活用するための改正を行うもの。



委員会審査の様子

討 論

令和3年3月26日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。



たくさんの移住者募集中

員で理解し取り組む事業と考える。全体として、社会情勢を見据えた施策、自然災害に備えた施策、将来にわたり持続可能で夢ある舞鶴市を目指す、積極的な施策が提案されており賛成する。

新型コロナ禍で市税減収も財源確保を評価

討論



新政クラブ議員団
眞下 隆史

全議案に賛成する。新型コロナウイルス感染症との闘いが続く現在、令和3年度市税収入の減少はいままでもなく、地方交付税の増額対応もなく厳しさを感じている。そこで本市は、地方債でありながら、のちに交付税措置がな

される「臨時財政対策債」の増額で対応し、実質的な地方交付税額を前年度比3億9900万円の増額と、必要な財源を確保されていることを高く評価する。移住定住の推進では、都会で暮らすコロナ禍で人生設計・働き方を模索中の人々を、舞鶴市へと導く積極的な施策展開など、コロナピンチを人口維持・増加のチャンスに変え得る取り組みであると期待する。ごみ処理手数料の改定は、一人当たりのごみ排出量削減が目的ということを全

の事業に関わるものとして反対。①「赤れんが周辺等まちづくり事業」を積極的に進める。②地元負担も明らかでなく計画もない「整備新幹線誘致推進事業」。③市民に新

求められるのは暮らし応援の支援策

討論



日本共産党議員団
伊田 悦子

提案された議案のうち、5議案に反対。残る議案に賛成する。

市民にとって最も身近な地方自治体の役割として存在し、市民の厳しい生活実態に寄り添い支援すること。この立場で審査。令和3年度一般会計予算は、次の事業に

たな1億円の負担を押しつける「ごみ処理手数料の見直し」が7月から開始。④消防の連携・強力、広域化を見据えた「京都市中・北部地域消防指令センター整備事業」。国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業の3会計は、市の努力で市民負担の軽減を求め反対。介護保険条例は、第8期高齢者保健福祉計画に基づき、65歳以上の1号被保険者の保険料が1億2431万円の負担増となる提案で「保険あつて介護なし」との状況から反対。



安心して利用できる介護保険制度へ

心豊かに暮らせるまちづくり

討論



創政クラブ議員団
高橋 秀策

全議案に賛成する。

充当率や交付税措置がより有利な地方債の活用や補助率の高い国府の補助金、ふるさと納税等財源の確保に努めるとともに、各部の自主性と創意工夫がみられる枠配分方式による歳出の効率化を図られたことを評価。また、第7次舞鶴市総合計画に沿う「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」、そして「ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らし」の実現を推し進める予算であり、高く評価する。

新幹線をぜひ舞鶴に

本市には、国防の拠点である海上自衛隊、海の安全の拠点である第八管区海上保安本部など、日本にとっても大切な地域である。また新幹線の整備は、太平洋側における大規模災害時のリダンダンシーが確保される等国益にもなる。少子高齢化が進む本市にとって、起爆剤の新幹線は、必ずまちの発展につながる。次世代の子どもたちのためにも北部5市2町の将来のためにもぜひ新幹線をわがまちに。



新幹線

*リダンダンシー … 災害時など交通やライフライン等の重要な機能が消失することを想定し、多重化など予備の手段を確保しておくこと

令和3年3月26日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

討論

交付税措置はあるが地方債の増加で公債費が増額していることを懸念する。舞鶴版Society5.0への移住定住の取り組みは成果と定着を。保育所・認定こども園の運営では待機児童の発生で子育ての不安要素となったことから保育士の確保に一層の努力を。教育は

予算編成を評価
保育士確保に努力を

討論

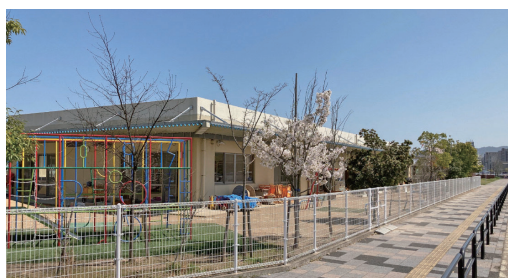
公明党議員団
上羽 和幸



全議案に賛成する。
令和3年度予算は、

コロナ禍の影響を懸念したが市税収入は1%減で収まり、前年度以上の予算を確保したことを評価する。一方、予算に大型事業の占める割合が大きいため、

不登校支援で児童生徒に寄り添い、GIGAスクール構想で教育環境の充実を。「まなびあむ」は民間活力導入の事業者選定を評価。ごみ処理手数料見直しは市民への理解に丁寧な対応を。浸水対策・防災減災は東地区に対する宅地かさ上げ助成と農村地域のため池対策を評価。地域医療は麻酔診療センターの設置を評価。京都舞鶴港の国際ふ頭は2期整備を評価する。



うみべのもり保育所

市の主要施策が市民に
認知されていない

討論

会派に所属しない議員
(3月現在)
嶋田 秋津

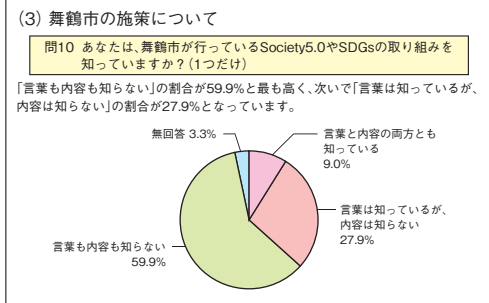


全議案に賛成する。
令和3年度の各予算

編成では、「ITを活用した心が通う便利な田舎暮らし」の実現を新たなまちづくりへの挑戦として掲げられている。その実現のため舞鶴版Society5.0 for SDGsの推進、ならび

SDGsを知っていますかとの問いに、約9割が内容を知らないという結果が出ている。市政のテーマの根本に関わる取り組みが市民に浸透していない事実である。併せてこのアンケートでは、市民がわがまちに感じている魅力に「豊かな自然」を一番に挙げている。自然を守り、そこに住む人々の満足度を向上させ、生かしていくことが持続可能な舞鶴ではないか。アンケート結果を踏まえた、今後の取り組みを注視する。

に3つの柱からまちづくり戦略が示された。SDGsの推進では、赤れんがコワーキングスペースの推進などが予算計上されているが、市民アンケートの結果によると、^{*}舞鶴版Society5.0 for



アンケート結果から分かる認知度の低さ

公式 Facebook の紹介



「市民に開かれた議会」に向けた取り組みとして、市議会公式Facebookにて、議会活動に関する様々な情報を掲載しています。多くの「いいね！」をお待ちしております。

Facebook ページ名：「舞鶴市議会」

URL : <https://www.facebook.com/maizurushigikai.kyoto>



本会議の映像を、スマートフォン、タブレット端末やPCなどでご覧いただくために、動画共有サービス YouTube でインターネット配信を行っています。詳しくは、舞鶴市議会ホームページで。

本会議の映像配信



舞鶴市議会

検索



令和3年2月24日および3月26日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で可決した条例議案

- 市長及び副市長の給与に関する条例及び教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 火災予防条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例制定について
- 電源立地地域対策基金条例の一部を改正する条例制定について
- 地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 新型コロナウイルス感染症緊急特別対策利子補給金基金条例の一部を改正する条例制定について
- 滞在型農林業体験実習施設条例を廃止する条例制定について
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
- 指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 人権教育・啓発推進計画審議会条例制定について
- 子育て交流施設条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で承認・可決したその他の議案

- 専決処分の承認を求めることについて(工事請負契約の変更)
- 辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更について
- 市道路線の変更について

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択
 【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	仲井玲子	西村正之	議決をした日		
新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	無党派	無党派	無党派	無党派			
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○		○	3月26日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		3月26日	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		3月26日	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		3月26日	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○		3月26日	
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	3月26日		

☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

固定資産評価員の選任
 新任：沼田行博氏

固定資産評価審査委員会委員の選任
 再任：松岡良啓氏

議案の採決結果

(令和3年3月定例会)

会期:2月24日~3月26日

全会一致で可決した予算議案

- 令和3年度水道事業会計予算
- 令和3年下水道事業会計予算
- 令和3年度病院事業会計予算
- 令和3年度貯木事業会計予算
- 令和3年度駐車場事業会計予算
- 令和2年度一般会計補正予算(第10号)
- 令和2年度一般会計補正予算(第11号)
- 令和2年度国民健康保険事業会計補正予算(第4号)
- 令和2年度駐車場事業会計補正予算(第1号)
- 令和2年度一般会計補正予算(第12号)
- 令和3年度一般会計補正予算(第1号)



全会一致で可決した議員提出議案

- 新型コロナウイルスワクチン接種及び経済復興等に係る意見書

全会一致で同意した人事議案

- 副市長の選任について
- 監査委員の選任について
- 固定資産評価員の選任について
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について

賛否が分かれた議案

議案名等		議員名等(会派内は五十音順)						今西克己	上野修身	鯛慶一
		出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	議決結果	新政	新政	新政
市長提出議案	令和3年度一般会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和3年度国民健康保険事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和3年度介護保険事業会計予算	25	25	21	4	0	可	○	○	○
	令和3年度後期高齢者医療事業会計予算	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	介護保険条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	教育長の任命について	26	25	21	4	0	同	○	○	○
請願	国へ「中学校も含めた義務教育における30人以下学級を早急にすすめる意見書」の提出を求める請願	26	25	7	18	0	不	×	×	×

【会派】 新政…新政クラブ議員団、創政…創政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、無会派…会派に所属しない議員

副市長の選任

新任：沼田 行博 氏

教育長の任命

再任：奥水 孝志 氏

監査委員の選任

再任：瀬野 淳郎 氏

意見書・特別委員会の活動報告・6月定例会の予定

国に対する意見書

3月定例会で議員発議し可決した意見書の要旨は次のとおりです。

▽新型コロナウイルスワクチン接種及び経済復興等に係る意見書(抜粋)

昨年続く2回目の緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルス感染症の完全な終息には、感染拡大防止に対する国民の理解と速やかな全国民へのワクチン接種が重要であると考えている。そのため、各自治体においては、国や道府県からの情報を元に接種体制の構築を最優先の取り組みとして全力で進めているところである。

一方、緊急事態宣言が長期間にわたり発令された中で、地域経済への影響は大きく、飲食業、観光業、交通事業者のみならず、一次産業から三次産業まで幅広い業種の事業者にとって厳しい状況が続き、廃業を選択する中小事業者も多く現れている。

安心安全な日常生活を早期に取り戻すため、検査体制を含む感染防止対策のさらなる充実、全国民への安全かつ円滑なワクチン接種、速やかな経済復興施策の実施に係る次の事項について、強く要望する。

- 1 国によるワクチンの早期確保について
- 2 自治体との円滑な情報共有について
- 3 国民への情報周知について
- 4 国負担による接種および自治体への財政措置について
- 5 変異株の感染拡大に対する措置について
- 6 中小企業や個人事業者等への融資・支援制度等の充実、継続的な経済対策について
- 7 緊急事態宣言による直接的な協力金等の制度の充実について
- 8 公共交通への継続的な支援について
- 9 国際貿易港における感染症水際対策強化について
- 10 感染症対策、経済対策等を行い厳しい自治体への財政支援措置について

特別委員会の活動報告

市内造船事業に関する調査特別委員会

3月18日、「市内造船事業に関する調査特別委員会」を開催。ジャパンマリユナイテッド株式会社舞鶴事業所管理部長を参考人として招致し、現在の状況など説明を受けました。



参考人からの説明

6月定例会予定

6月

- 2日(水) 本会議(開会・提案説明)
- 9日(水) 請願受理締切
- 14日(月) 本会議(一般質問)
- 15日(火) 本会議(一般質問、議案質疑)
- 16日(水) (本会議(一般質問、議案質疑)予備日)
- 18日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 21日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 24日(木) 予算決算委員会
- 29日(火) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)

※一般質問が15日に終了する場合は、16日の本会議は開催されません。
※予定は変更することがあります。

これまでの主な放送テーマ

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」
- 「本会議や委員会の傍聴について」
- 「議場の中の様子などについて」
- 「舞鶴市議会のホームページ紹介」
- 「行政視察の受入状況について」 など



＜今後の放送予定＞

- 5月28日(金) 放送テーマ:「オンライン会議の実施に向けた取組」ほか
- 6月25日(金) 放送テーマ:「6月定例会主な議案紹介」ほか

過去の放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



FMまいづるに出演しています